

週刊

こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎(752)0453 植田 進 ☎(487)9754
いはら 忠 ☎(488)7207

発行

日本共産党
八千代市議会議員団

八千代市大和田新田
312-5
☎(483)1151

熱中症対策に万全を期すべき

7月25日9時20分ごろ、八千代市立睦小学校のグラウンドで野球の練習中の子どもたち6人が、吐き気や手足のしびれを訴えて病院に運ばれました。子どもたちは八千代市内の小学生であること、そして軽度の熱中症であることがわかりました。

現在八千代市では、熱中症対策として「暑さをしのぐ『やちよオアシス』の利用」のみが示され、公共施設・大型スーパー等の一時休憩所を設けているにすぎません。

関係部局に緊急の申し入れと対策を求める

日本共産党は7月28日、八千代消防署の警防課（搬送などの事実確認）と生涯学習部の文化・スポーツ課（校庭の貸し出し担当）に当日の聞き取りとなどいたしました。

聞き取りの中での問題点として明らかとなったのは、文化スポーツ課が担当する学校施設の貸し出しを行っている校庭で、正確な事実確認がされていないこと。7月28日時点で、今後どうするのかの具体策が検討されていませんでした。

聞き取りの中で①熱中症対策の注意喚起を利用団体に至急行うこと。②再発防止を検討すること強く要望しました。

国による熱中症対策の取り組み

熱中症対策については、近年、夏季の救急搬送者数が全国で4万人を超えていることから、政府による熱中症対策を関係省庁が分担・連携して推進をしています。

- 1・気象情報の提供、注意喚起
- 2・予防・対処法の普及啓発
- 3・発生状況等に係る情報提供
- 4・調査研究の推進

など、2015年5月27日現在、政府の取り組みが示されています。

この取り組みの中では、

- 1、気象庁からの注意喚起、民間のメール配信を利用して暑さ指数のサービス提供
- 2、日常生活における熱中症対策として、リーフレット「熱中症予防のために」を各地方自治体に配布し、保健所等における健康相談等での活用や介護事業者等への啓発等を依頼（厚労省）、



裏面に続く→

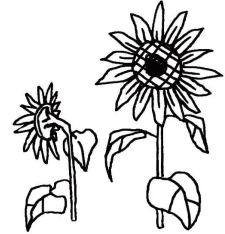
3、学校現場における熱中症対策として教職員・教育委員会の担当者・中体連及び高体連等の会議等での指導、公立学校施設については空調設備の設置を支援などが示されています。

八千代市での具体的な対応について提案

日本共産党は、八千代市の今後の熱中症対策への提案として

・今回の熱中症の搬送では

- ① 校庭利用団体の体育館利用で、休憩所を設ける。
- ② 体育館利用団体にも理解を求める。
- ③ 体育指導員への熱中症対策の指導を行う。



・全体的な市の取り組みとして（国の取り組みを運用して）

- ① 市の職員をはじめ、体育指導員への熱中症対策の指導を行う。
- ② 市民への熱中症対策のパンフレットの配布。
- ③ 学校の教室、体育館など公立学校施設への空調設備の設置。

以上のことを進めていくことで、市民のみなさんが安心して市内施設を利用できるように、さらには市内の子どもたちの命を守れるようになっていきます。

子どもたちの命と健康を守るためにも、教室のエアコン設置に向け、一刻も早く実現できるよう、強く要望いたします。